

とどけ！私たちの平和の願い

広島市の平和祈念式典に参加

昭和59年11月に世界平和都市を宣言して、今年で3年目を迎えました。今年度は、市内の中・高生3人が、広島市の平和祈念式典に参加し、その感想を寄せてくれました。



7/23 ■なつやすみおはなし会 「ドンスケのしごと」一布製の壁かけを利用した創作童話で130人の子供たちをお話の世界へ魅了。



8/3 ■合同道路パトロール 8月は「道路を守る月間」。府・市道約8kmを回り、道路の不法占用や工事中の保安措置などを点検。



8/10 ■夏休み子供歴史教室 原始時代の土器づくりに挑戦したり、文化財の発掘現場で土器掘り。最後は、土器でごはん炊き。



民秋市長におわかれと出発のあいさつ

フォトニュース



稲垣孝一 向陽高1年

と違う何かを感じさせました。それはもの悲しさというか、なげきというか、

42年たった今の中にも戦争の悲惨さを、原爆の恐ろしさを訴えているように僕は思いました。

広島に落ちてとでもきれいなとこだと思っていました。そのきれいな街の中で原爆ドームだけが他の建物

次代を担う子供たちに、平和の尊さと戦争の悲惨さを学んでもらおうと、市では、昭和59年に行った「世界平和都市宣言」の平和行動計画に基づき、市内の中・高校生3人を、8月6日広島で開催された平和祈念式典に派遣しました。3人の皆さんは、原爆慰



祈念式典で「ひろしま平和の歌」を合唱する参加者

映画なんかを見たことがあつたら少しは知識があるつもりだったけど資料館で衣服や物や資料なんかを

中が核時代でありどんなに恐ろしいか教えてもらえ

見たらまだまだ知らないこと多いなって痛感しました。また、被爆者の方の話

霊碑、平和記念資料館の見学や平和祈念式典に参加しました。また、「語り部」の方から直接体験談を聞くなど、戦争の恐ろしさや悲惨さを学び、平和の誓いを新たにしています。

では、気持ちが悪いかも。は去年の修学旅行と合わせ二回目になったけど、今回の場合は自分自身の知識

もっと私達が勉強しなければならぬ。そして、行動していかなければならない

人である私達がまだまだ本当のことを知らないでいるということ。やはり被爆国である日本が世界に訴

昭和20年8月6日午前8時15分、広島に落とされた原子爆弾は、約14万人もの人々のいのちをうばい、広島は焼け野原となつてしまつた。今はあの恐ろしい原子爆弾が落ちたとは思

言葉を言い表せないような何とも言えない気持ち

内慰霊碑を見て、言葉に言い表せないような何とも言えない気持ちになりました。資料館ではいろいろな物が展示されていて、中には目をそらしたくなる物もあり、戦争の悲惨さが少しもわかつたように思いました。その中で一番印象に残っているのは、目が口か區別がつかないほど顔面に大ヤケドをしている人

今、もし戦争が起こればと思うと、広島に行く前よりもっと強く恐ろしいと感じます。6日、私たちが式典に参加した時、多くの人達がピラを配って二度と戦争を起さないようにと訴えていました。私も、少しでも多くの人に戦争の悲惨さを知ってもらいたいと思

友だちや家族に伝えたい

障害にかられた方でした。その人は正しい知識と正しい良心を持たなければならぬと言われ、おられた。あつた。あと三十年ほどたつた。被爆者もいなくなり原爆の恐ろしさというものが忘れられた存在となりま

今、もし戦争が起こればと思うと、広島に行く前よりもっと強く恐ろしいと感じます。6日、私たちが式典に参加した時、多くの人達がピラを配って二度と戦争を起さないようにと訴えていました。私も、少しでも多くの人に戦争の悲惨さを知ってもらいたいと思

また、あつた。あと三十年ほどたつた。被爆者もいなくなり原爆の恐ろしさというものが忘れられた存在となりま

ありがとう・元気で

交換学生 出発、帰国あいさつ

8月3日、向日市から米國カリフォルニア州サラトガ市へ、交換学生として訪問する学生5人と、サラトガ市から向日市へ交換学生として訪問していた学生2人が、市役所を訪れ、民秋市長に挨拶の決意と訪問のお礼を述べました。向日市交換学生代表が、「友好親善のため努力し、世界平和に貢献したい」と述べ、民秋市長は「友好と平和の使者として貢献してください」と激励し、また

サラトガ市交換学生は、「市民の皆さんの親切は忘れないうちに、滞在2週間のお礼を兼ねてあいさつしました。向日市の交換学生は、サラトガ市の各家庭でホームステイし、サラトガ市長への表敬訪問など、両市の親交を深め、8月20日に帰国します。交換学生は次の皆さん。中村泰隆、小城玲子、梅田真琴、林大輔、磯野なつ子

向日市総合防災訓練

8月25日(火)

午前9時30分～11時30分

ふれあい広場 (市民体育館南側)

今回の総合防災訓練は、地震災害を想定して、住民の避難や被災者の救助、救出、ガス、電話施設の応急復旧活動など、防災関係機関の連携のもとに行うものです。市民のみなさんもこの機会に忘れず火の始末の習慣をつけ、万一の災害に備える機会としてください。訓練会場周辺のみなさんには、当日は訓練車両などでご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。なお、当日午前9時30分に訓練開始の合図として市内全域でサイレンを吹鳴します。